

## 2 あなたの生活について

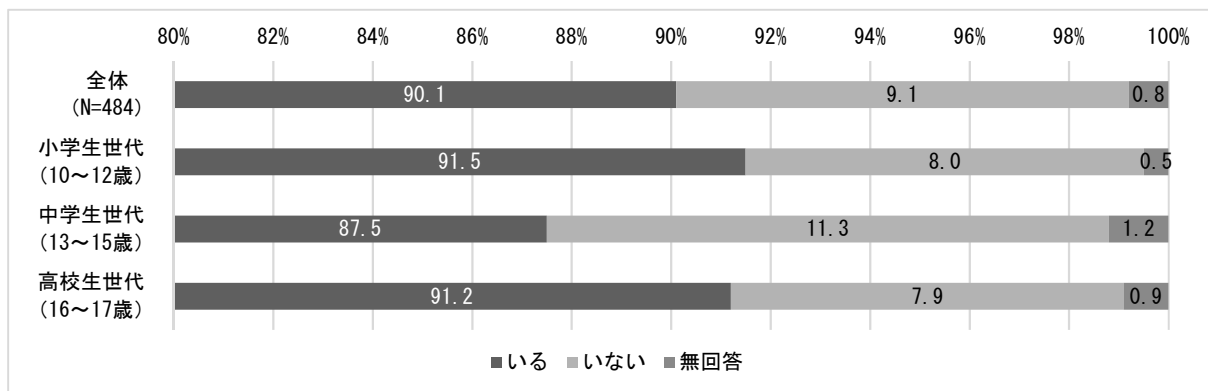
### (1) 安心して話せる人

#### ア 悩みや相談事を話せる人の有無

##### 【子ども：世代別】

子どもに、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいるかをたずねたところ、子ども全体では「いる」という回答が90.1%でした。世代別にみると、「いる」という回答の割合は、小学生世代が91.5%と最も高くなりました。

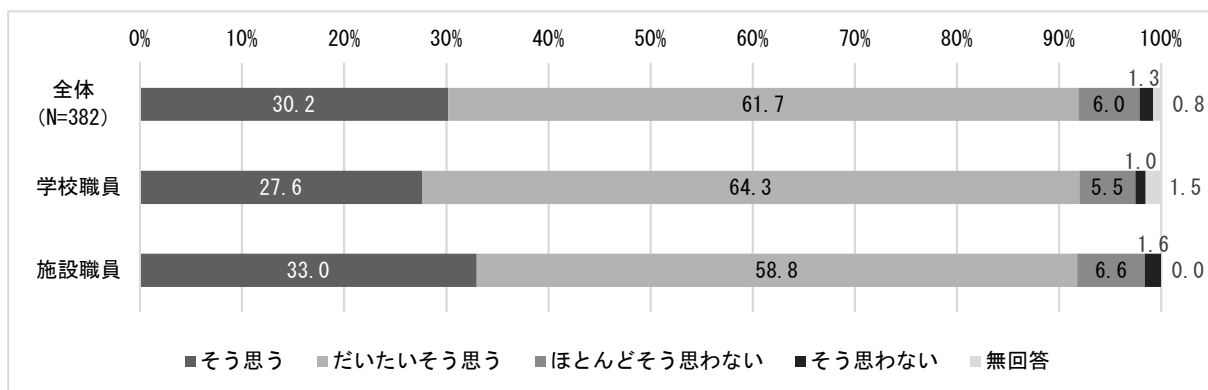
図30 Q5 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいますか。【子ども：世代別】



##### 【職員：施設別】

職員に、子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいると思うかをたずねたところ、職員全体として、「そう思う」という回答が30.2%、「だいたいそう思う」が61.7%、「ほとんどそう思わない」が6.0%、「そう思わない」が1.3%でした。学校職員と施設職員との間に、大きな差はみられませんでした。

図31 Q5 あなたは、子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいると思いますか。【職員：施設別】

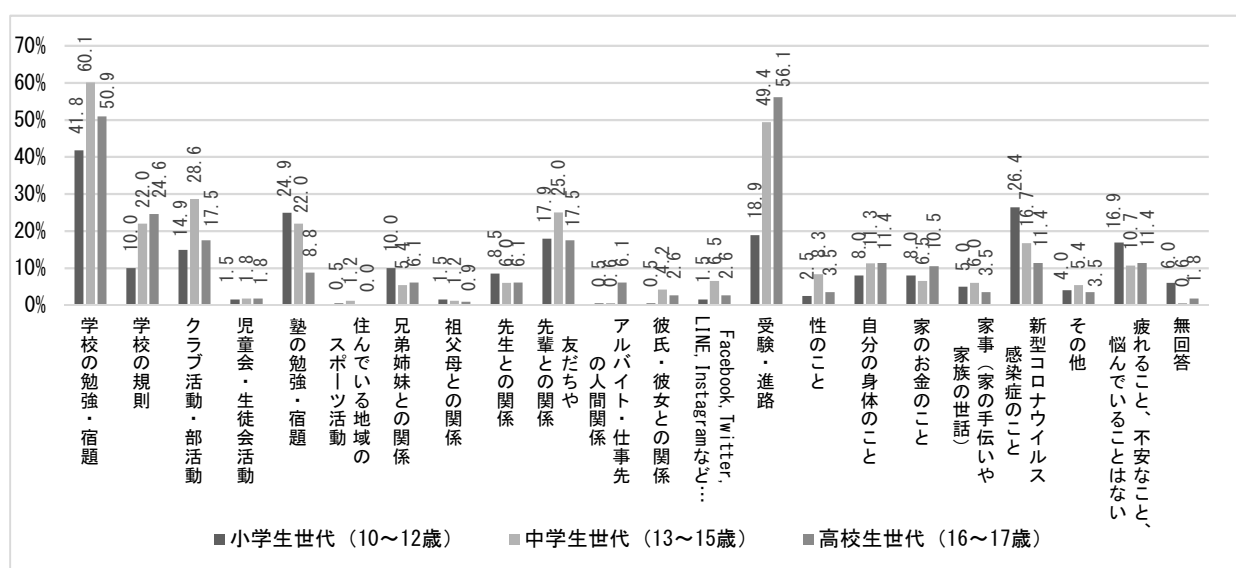


## イ 疲れること、不安に思うこと

### 【子ども：世代別】

子どもに、疲れること、不安に思うことはあるかをたずねたところ、小学生世代で回答の割合が最も高いのは「学校の勉強・宿題」で、次いで「新型コロナウイルス感染症のこと」でした。中学生世代も「学校の勉強・宿題」が最も高く、次いで、「受験・進路」でした。高校生世代では「受験・進路」が最も高く、次いで、「学校の勉強・宿題」でした。「疲れること、不安なこと、悩んでいることはない」と回答した割合が最も高いのは小学生世代の 16.9%で、次いで高校生世代の 11.4%、中学生世代の 10.7%でした。

図 32 Q6 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うこと、悩んでいることは何ですか。【子ども：世代別】



「その他」の回答について P. 61 参照

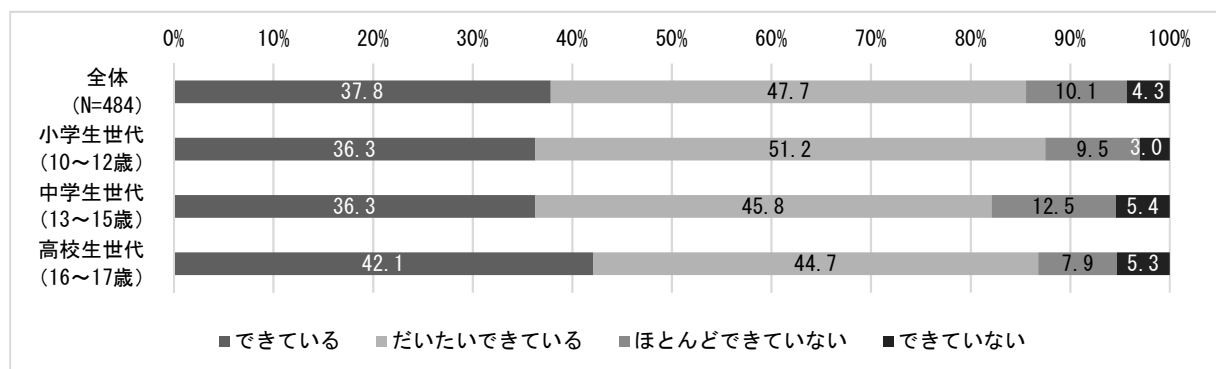
## ウ 気持ちを伝えられているか、受け止めることができているか

### 【子ども：世代別】

子どもに、家で過ごしているときに、自分の気持ちをおとなに話すことができているかをたずねたところ、子ども全体としては、「できている」という回答が 37.8%、「だいたいできている」が 47.7%、「ほとんどできていない」が 10.1%、「できていない」が 4.3%でした。

世代別に見ると、「ほとんどできていない」、「できていない」と回答した割合が最も高かったのは中学生世代で、17.9%でした。(図は P. 24 図 33 を参照)

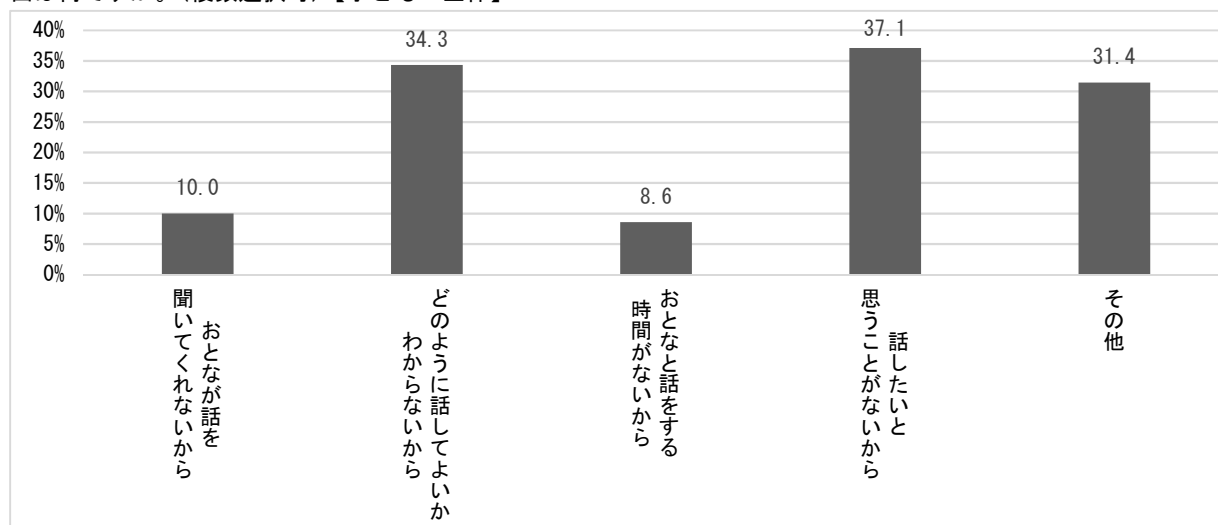
図 33 Q 7 あなたは、家ですごしているときに、自分の気持ちをおとなに話すことができますか。【子ども：世代別】



【子ども：全体】

Q 7において「ほとんどできていない」、「できていない」を選んだ子どもに対し、その理由をたずねたところ、「話したいと思うことがないから」と回答した割合が最も高く、37.1%でした。

図 34 Q 8 Q 7において、「3ほとんどできていない」「4できていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。(複数選択可)【子ども：全体】

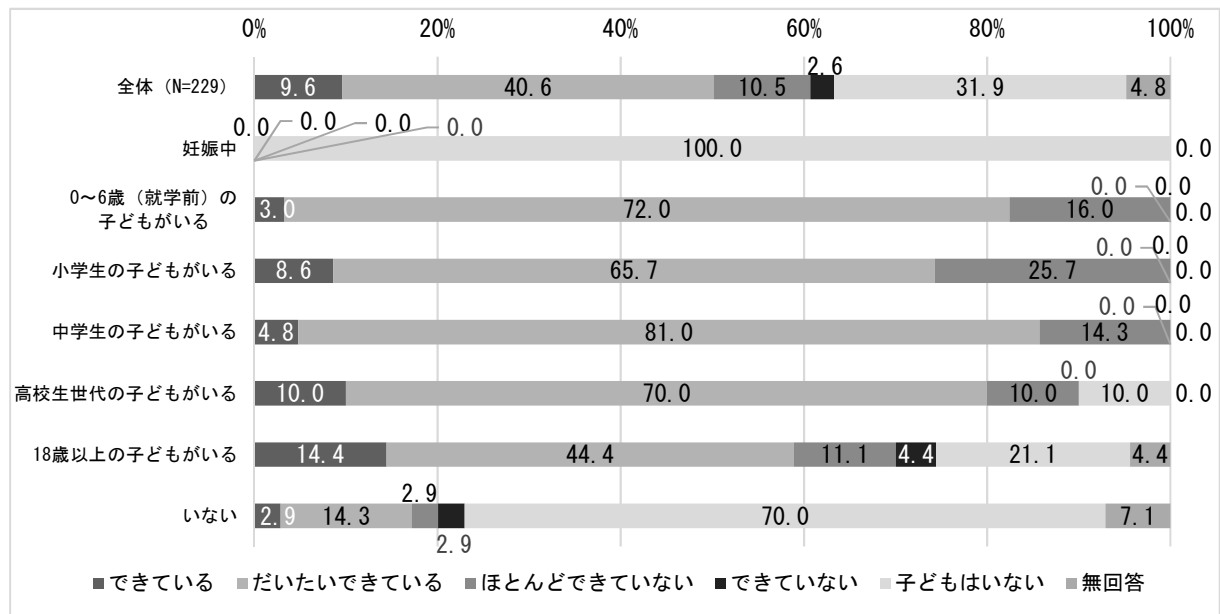


「その他」の回答についてはP. 62 参照

【おとな：子どもの有無別】

おとなに、ふだん家で過ごしているときに、子どもの話を聞くこと（気持ちを受け止めること）ができているかをたずねたところ、おとな全体として、「できている」という回答が9.6%、「だいたいできている」が40.6%、「ほとんどできていない」が10.5%、「できていない」が2.6%でした。（図はP. 25 図 35 を参照）

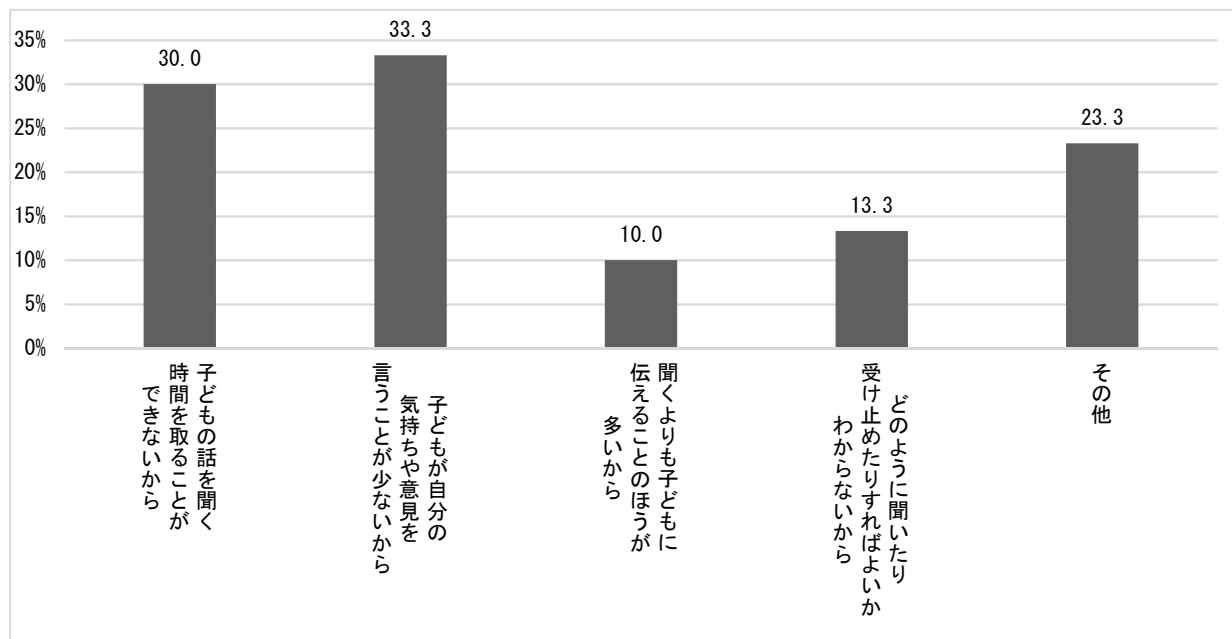
図 35 Q 7 あなたは、ふだん家で過ごしているときに、子どもの話を聞くこと（気持ちを受け止めること）ができていますか。【おとな：子どもの有無別】



「できている」、「だいたいできている」と回答した人の具体例や工夫についてはP.91 参照

Q 7において「ほとんどできていない」、「できていない」を選んだおとなに対し、その理由をたずねたところ、「子どもが自分の気持ちや意見を言うことが少ないから」と回答した割合が最も高く、33.3%でした。

図 36 Q 9 Q 7において、「3ほとんどできていない」「4できていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。(複数選択可)【おとな】

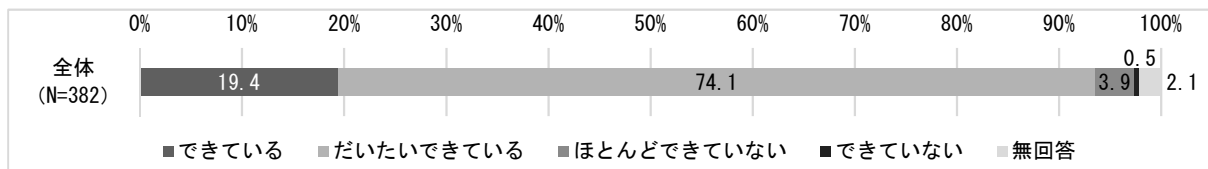


「その他」の回答についてはP.92 参照

【職員：全体】

職員に、職場において、子どもの気持ちや意見を聞くこと（受けとめること）ができていないかをたずねたところ、「できている」、「だいたいできている」と回答した割合が合わせて93.5%でした。

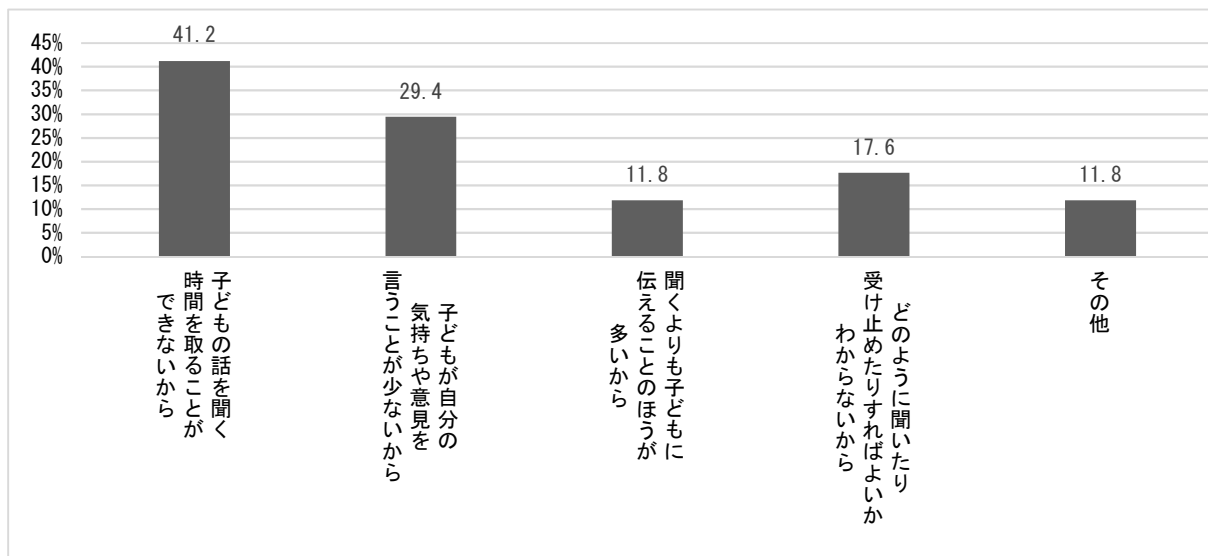
図 37 Q 9 あなたは、職場において、子どもの気持ちや意見を聞くこと（受けとめること）ができていますか。【職員】



「できている」、「だいたいできている」と回答した人の具体例や工夫についてはP.120 参照

「ほとんどできていない」、「できていない」と回答した職員に対し、その理由をたずねたところ、「子どもの話を聞く時間を取ることができないから」と回答した割合が最も多く、41.2%でした。

図 38 Q11 Q 9において、「3ほとんどできていない」「4できていない」を選んだ人にお聞きます。その理由は何ですか。（複数選択可）【職員】



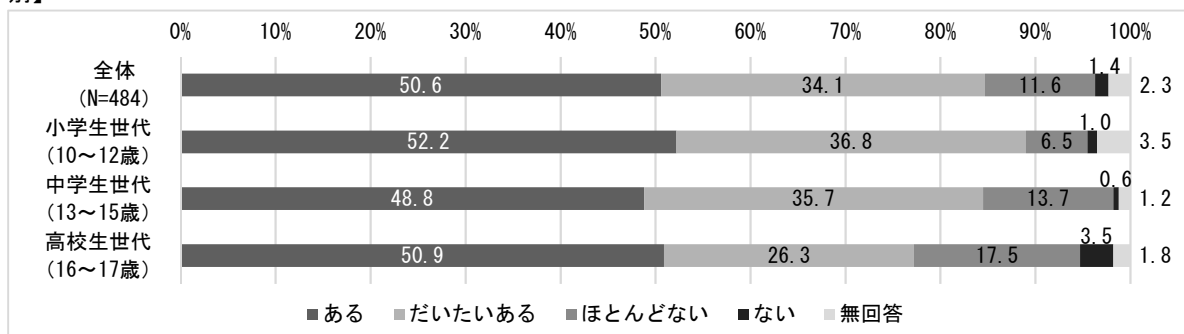
「その他」の回答についてはP.120 参照

(2) 話したことの実現性

【子ども：世代別】

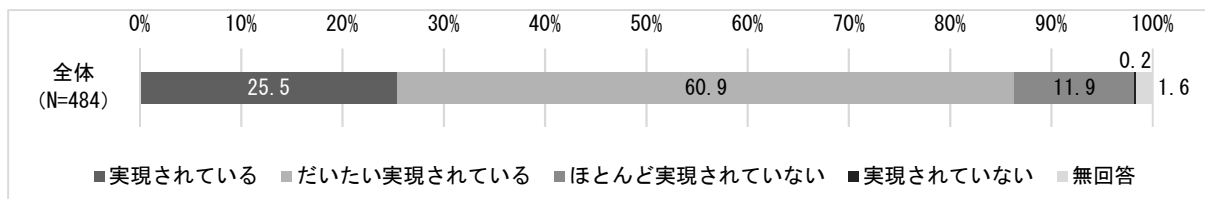
子どもに、家で何かをしたり、決めたりするとき、おとなはあなたの意見を聞いているかたずねたところ、子ども全体としては、「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合が合わせて84.7%でした。

図 39 Q9 家で何かをしたり、決めたりするとき、おとなはあなたの意見を聞いていますか。【子ども：世代別】



「聞いている」または「だいたい聞いている」を選んだ子どもに、聞いてもらった自分自身の意見は実現されたかたずねたところ、86.4%の子どもが「実現されている」、「だいたい実現されている」と答えました。

図 40 Q10 Q9において、「1聞いている」または「2だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。聞いてもらった自分自身の意見は実現されましたか。【子ども】

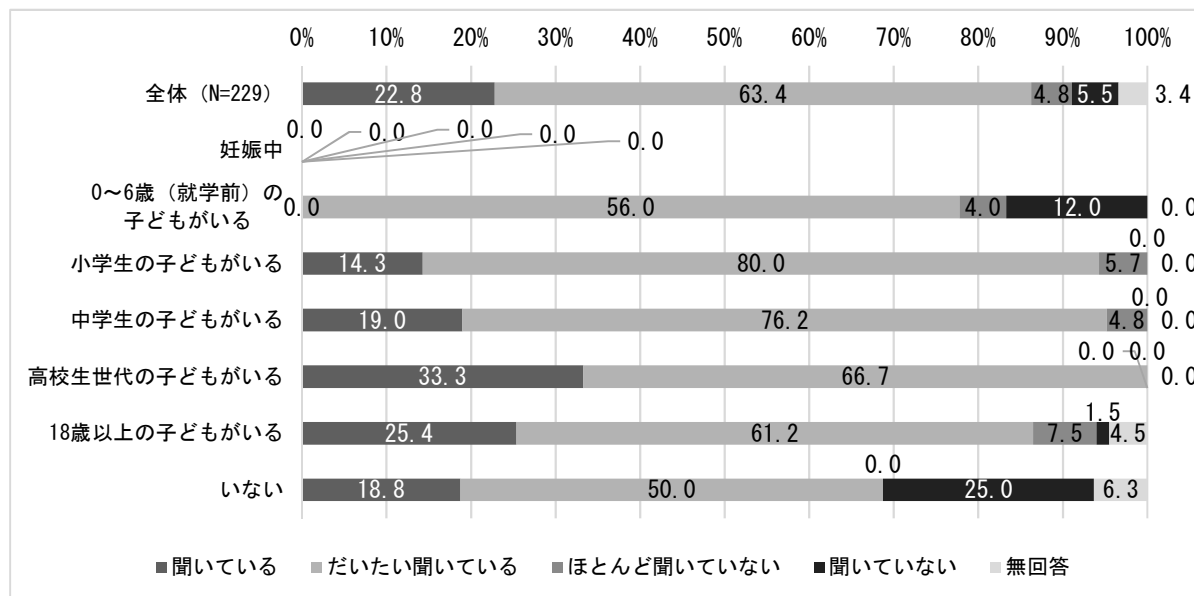


実現されたことで印象に残っていることについてはP.63 参照

【おとな：子どもの有無別】

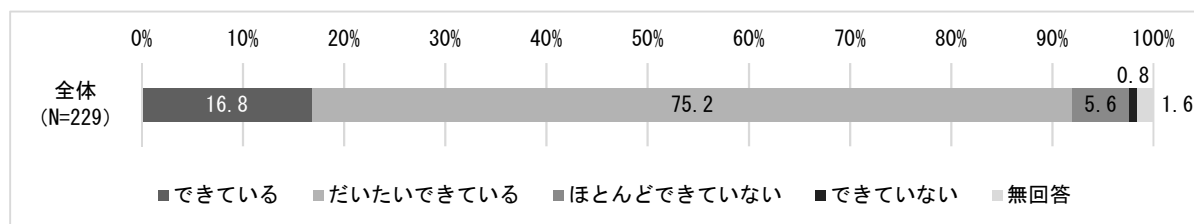
おとなに、家の中で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いているかをたずねたところ、「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答したおとなは全体で86.2%でした。「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合が最も高かったのは、「高校生世代の子どもがいる」おとなでした。反対に、「ほとんど聞いていない」、「聞いていない」と答えたおとなが多かったのは、「妊娠中」と子どもの「いない」おとなを除いて「0~6歳（就学前）の子どもがいる」おとなでした。(図はP.28 図41を参照)

図 41 Q10 あなたは、家の中で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。【おとな：子どもの有無別】



「聞いている」、「だいたい聞いている」を選んだおとなに対し、子どもから聞いた意見を実際に反映させたり、実現したりすることができているかをたずねたところ、「できている」、「だいたいできている」と回答した割合は合わせて92.0%でした。

図 42 Q11 Q10において、「1聞いている」または「2だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。子どもから聞いた意見を実際に反映させたり、実現したりすることができていますか。【おとな】



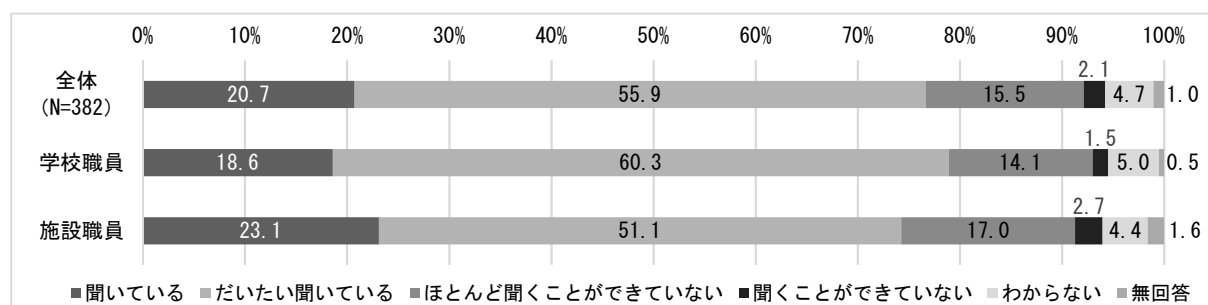
「できている」、「だいたいできている」と回答した人の印象に残っていることについてはP.92 参照

「ほとんどできていない」、「できていない」と回答した理由についてはP.93 参照

【職員：施設別】

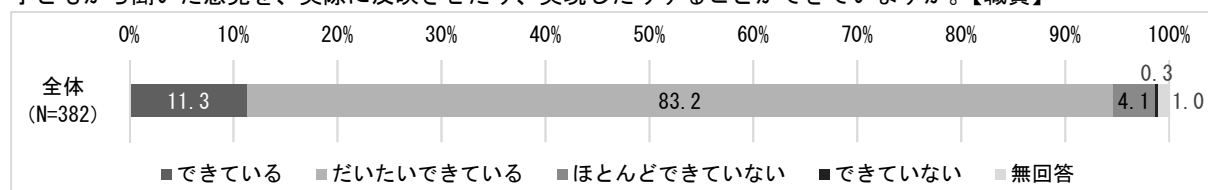
職員に、職場で子どもに関わること（運営方針、授業・保育内容、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを聞いているかをたずねたところ、職員全体では、「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合は合わせて76.6%でした。（図はP.29 図 43 を参照）

図 43 Q12 あなたの職場では、子どもに関わること（運営方針、授業・保育内容、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを聞いていますか。【職員：施設別】



「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した職員に対し、子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現したりすることができているかたずねたところ、「できている」、「だいたいできている」と回答した割合は合わせて 94.5% でした。

図 44 Q13 Q12において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きます。子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現したりすることができていますか。【職員】



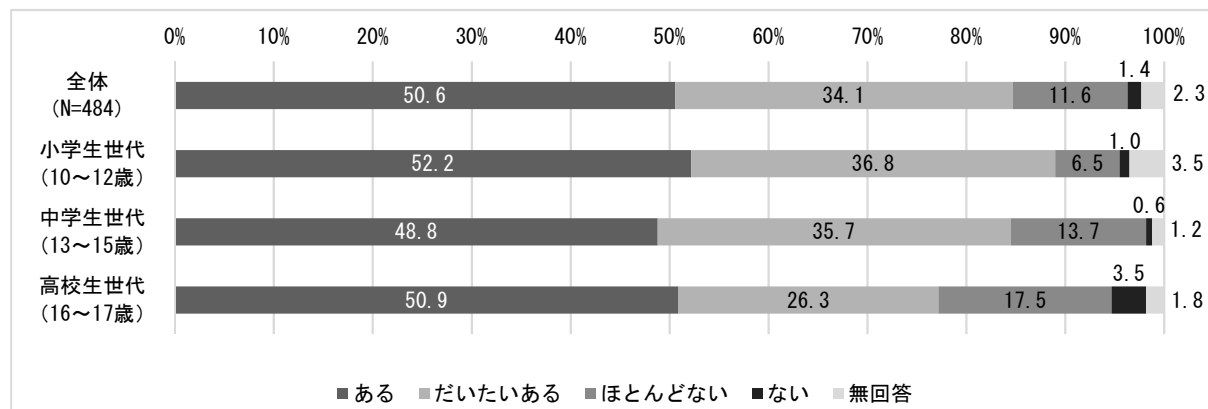
「できている」、「だいたいできている」と回答した人の印象に残っていることについては P. 121 参照

### (3) ホットできる時間・場所

#### 【子ども：世代別】

子どもに、遊んだり休んだり自分の好きなことをしたりする時間が十分にあるかたずねたところ、子ども全体で「ある」、「ときどきある」と回答した割合は合わせて 84.7% でした。

図 45 Q12 あなたには、遊んだり休んだり自分の好きなことをしたりする時間が十分にありますか。【子ども：世代別】

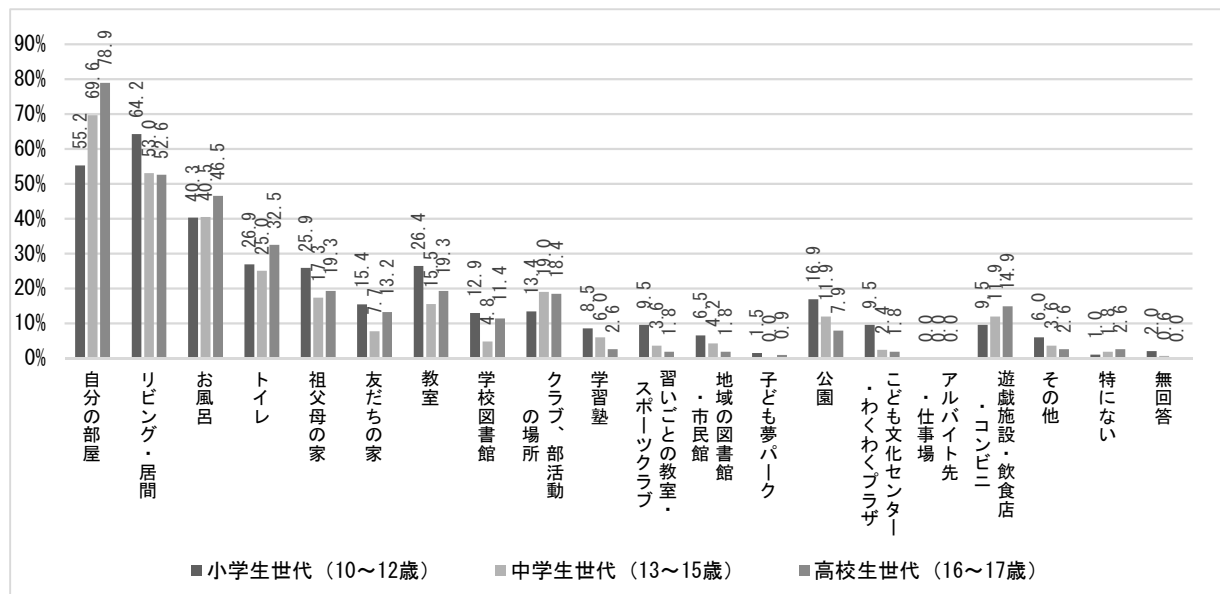




【子ども：世代別】

子どもに、ホッとできる場所はどこかたずねたところ、小学生世代は「リビング・居間」と回答した割合が最も多く、中学生世代と高校生世代では「自分の部屋」と回答した割合が最も高くなりました。

図 46 Q13 あなたにとってホッとできる場所はどこですか。(複数選択可)【子ども：世代別】



(4) 大切にされているか

【子ども、おとな】

子どもとおとなに、生活のなかで文化・国籍などのちがいを、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思うかたずねたところ、「そう思う」と答える割合は子どもが50.0%だったのに対し、おとなは30.6%でした。「そう思う」、「ときどき思う」を合わせると、子どもは89.7%、おとなは79.9%と肯定的な回答をした割合は子どもの方が高く、おとなと約10ポイントの差がありました。

図 47 Q15 (「おとな」はQ17) あなたは、生活のなかで文化・国籍などのちがいを、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。【子ども、おとな】

